

## 中伊豆小学校移転事業について

---

暮らしの機能が集まったコンパクトなまちをめざし、周辺のまちづくりを進めながら、中伊豆小学校を移転する。

### <新校舎整備における主な特色>

#### 1. まちづくりと一体となった整備

**通学環境の改善**：西側歩道の整備と南側狭隘道路の解消により、安全な通学路を確保。

**幼小連携の推進**：校舎配置を工夫し、幼稚園・こども園との連携を促進。

**子育て支援の充実**：放課後の居場所や放課後児童クラブを併設し、子育て家庭をサポート。

**地域との交流拠点**：「ヤマセミ広場（仮称）」を設け、地域やこども園とのふれあいを促進。

**安全な遊び場の確保**：東側の既存テニスコートを臨時駐車場やストリートスポーツパークに簡易改修。

**将来の交通拠点化**：危険バス停対策として中伊豆支所の交通結節点化を検討。

#### 2. 学びを支える設え

**探究を育む空間**：ラーニングコモンズを設置し、協働的な学びを促進。

**図書+発表の場**：図書スペースをプレゼンテーションエリアとしても活用。

**創造の場の確保**：創作テラスや屋外ステージなど、柔軟に使える空間を整備。

**地域開放スペース**：地域とつながる多目的スペースを設置。

**身の丈に合った規模**：160人規模、延床面積約3,000㎡のコンパクトな学校づくり。

#### 3. 防災機能の強化

**地域防災の拠点化**：新校舎のプロムナード空間と既存体育館を活用し、災害時の受け入れ・支援機能を強化。

**緊急時の動線確保**：南側狭隘道路の解消により、グラウンドへの大型車両（消防車・救急車・物資搬送車など）の進入がスムーズになり、災害時の迅速な対応と安全な避難動線の確保が可能となる。